
時の止まる場所

伊神識

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

時の止まる場所

【Nコード】

N8749F

【作者名】

伊神識

【あらすじ】

都内にある人里離れた、静かな神社の話し。

いつもの帰り道を逸れて、寄り道は裏山の方へ伸びる。森を進み、しばらくするとあ

る神社に辿り着く。それは丘の上に立っていて、桜の木に囲まれている。鳥居を越え、そ

の境内に足を踏み入れる。聞こえてくるのは雨の音と木の葉が揺れる音だけで、そこでの

時間の流れる速度はいつもと違っていた。周囲のどの木よりも大きく、幹が太く、標を引

かれている御神木が目に入る。根の方が地上にはみ出て、まるで地面にも枝ができたよう

に見えた。ここに居座って、どのくらいになるだろうと思いつつ、神社の裏へ回ってみ

た。そこでは、雨粒が神殿の屋根から直下にできた水溜りに落ちて静かに境内を響く。周

期的に落下する雫が水溜りに起こす同心円の波、その雫による波動が水中を伝わり、底に

ある砂粒を水中に浮かせてはまだ沈むのをしゃがみ込んで見ていた。

その規則正しく響く音、

広がっては消える波の輪、

上下する底の砂粒、

そのどれでも時間の経過を物語っている。だが、その繰り返す現象を私は時間は過ぎ去っ

てゆくのではなく、時間さえも同じところで繰り返されて、止まっているように思えた。

時が止まる場所は、そこにあった。

(文中の神社は東京都内に実在する神社である)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8749f/>

時の止まる場所

2010年12月14日17時55分発行